

地域おこし協力隊初任者研修(令和元年度)

1. 趣旨

新たに着任した地域おこし協力隊員が、コミュニケーションや自己開示の手法を知り、地域へのスムーズな溶け込み、地域内外のネットワークづくりができる力を養成する。また、協力隊員同士、先輩隊員との交流を持つきっかけをつくる。

2. 日時・場所

令和元年6月13日(木) 13時00分～17時00分
松本合同庁舎 109号会議室 (長野県松本市島立1020)

3. 対象及び参加者数

委嘱から概ね半年以内の地域おこし協力隊員 39名(21市町村)

4. 内容

- ① 地域おこし協力隊の制度や県内の取組状況の説明
- ② ワークショップ・意見交換

先輩隊員たちの経験から学ぶ、隊員としてのあり方や地域とのコミュニケーション力の養い方
ファシリテーター:

齋藤 俊介 氏(合同会社 DMC 星巡る旅人、元地域おこし協力隊員)
成田 智英 氏(工芸&喫茶ひとつ石、元地域おこし協力隊員)
宮坂 悠子 氏(箕輪町職員、元地域おこし協力隊員)
木下 雄貴 氏(大鹿村職員、元地域おこし協力隊員)
綿引 遥可 氏(下諏訪町地域おこし協力隊員)

(当日の様子)



5. 参加者からの感想・意見(参加者アンケート結果より)

- いろいろな協力隊の方とお話できて元気とやる気がでた。
- メンタルやコミュニケーションに関してはかなりためになった。
- 実践がこまめに入り楽しかったし、わかりやすかった。また席替えもたびたびあり、多くの人と話すことができた。
- 年によって北信、中信、東信、南信にわけてもよい。協力隊OBの関わる場所での開催もよい。
- 先輩隊員のもう少し具体的な活動内容について話を聞いてみたかった。
- 活動ジャンル(農、移住、商等)での交流時間やチーム分けがしたかった。